

新型コロナウイルス感染症に対応した臨時休業中の 生徒指導・学習指導等への対応について

義務教育課
健康教育課

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための緊急事態宣言を受けた臨時休業中については、児童生徒の健康安全を第一とし、望ましい生活習慣の維持と家庭学習の充実、問題行動の未然防止と事故防止に万全を期するために、適切な対応がなされるよう指導願います。

1 健康で安全な生活のための指導

- (1) 感染防止の徹底の観点から、外出は控えるよう指導を行う。なお、適度に体を動かすことが心と体の健康につながることから、「3密」を避けながら、屋内・屋外で手軽にできる運動を具体的（ストレッチ・なわとび・散歩・ジョギングなど）に示し、継続して取り組むように指導する。
- (2) 規則正しい生活を送り、望ましい生活習慣を維持できるよう家庭の協力を得ながら、個に応じたきめ細かな指導を行う。各学校において、震災後屋外での活動制限が続いたことによる体力の低下や肥満傾向児出現率の増加を克服した経験を生かし、これまでの創意工夫ある取組をもとにした運動実践が家庭でも継続されるよう、児童生徒及び保護者に啓発する。
- (3) 臨時休業中は、「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣等、規則正しい生活のリズムを維持できるよう、生活の状況を自分で振り返ることができるよう指導を行う。
- (4) SNSやオンラインゲーム等にのめり込んだり依存したりしないように、家庭と連携を図りながら指導を行う。
- (5) 自宅でもこまめな換気を心がけるとともに、清掃等による快適な生活環境を保つよう指導する。
- (6) 感染拡大防止の観点から、自宅でも検温等の健康観察を行い、健康状態の確認を継続するよう家庭に連絡する。
次のような症状がある場合は、帰国者・接触者相談センターに相談し、指示に従う。

- ・ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合（解熱剤を飲み続けなければならない場合も同様）
 - ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合
- ※ 基礎疾患がある児童生徒は上記の状態が2日程度続く場合は、帰国者・接触者相談センターに相談し指示に従う。

- (7) 医療機関において新型コロナウイルスに感染していると診断された場合は、速やかに家庭から学校へ連絡を入れるよう指導するとともに、保健所、教育委員会等への連絡体制を確認しておく。

2 心のケア

- (1) 長期の休業や急な臨時休業、感染への不安により、児童生徒は少なからずストレスを抱えているため、保護者と連携して心のケアに当たる。
- (2) 問題行動等の傾向及び個別に支援を要する児童生徒については、臨時休業中でも電話等で連絡を取るとともに、家庭や地域、関係機関等と連携を図る。
- (3) 不安を抱えている児童生徒に対しては、いつでも電話等で対応できる体制を整え、安心して生活できるよう支援するとともに、悩みごとの相談窓口を周知する。
(ふくしま24時間子どもSOS：0120-916-024、ダイヤルSOS：0120-453-141)

- (4) 感染者や濃厚接触者に対する、SNS等を用いた誹謗中傷やプライバシーの侵害など、差別や偏見は決して許されないことを指導する。

3 児童生徒の安全・事故防止の指導

- (1) 学校・市町村教育委員会は、地域、PTA、関係機関との連携により確立されている「登下校防犯プラン」等を活用し、日中の見守り活動や巡回、不審者情報等の共有及び迅速な対応が図られるよう留意する。
- (2) 保護者が不在時の生活や来客への対応について、次のことに留意して家庭のルールを確認しておくよう家庭と連携して指導する。
- 玄関や外から人が入ることができる窓の施錠をする。
 - 知らない人が訪ねて来ても、玄関の鍵を開けない。
 - 保護者との連絡を取れる手段を確認しておく。
- (3) 児童生徒だけの火気使用については、原則行わないよう指導する。

4 学習指導

- (1) 休業期間中を、自己マネジメント力を高める機会と捉え、「家庭学習スタンダード」を活用して家庭学習の充実を図る。
- (2) 1日の学習計画表を作成させる等、学習状況を見通し、振り返りの時間を確保するよう指導する。
- (3) 家庭学習の状況の点検を保護者に依頼する等、家庭と連携して学習環境を整える。
- (4) 「活用力育成シート」、「定着確認シート」は、現在家庭からでもダウンロードができることから、教材として活用を図る。
- (5) 文部科学省「子供の学び応援サイト」をはじめとした無料の学習サイトを紹介する。
- (6) 読書の充実につなげるために、学校図書館の貸し出し数を増やす等、柔軟に対応する。
- (7) 臨時休業中の課題の作成に当たっては、プリント学習に偏ることなく、多様な学習活動に配慮して行う。

〔課題の例〕

- 国語科における読書単元と関連させて、読んだ本についてワークシートや新聞形式にまとめる等、「考えて書く」活動
 - 絵画や工作、楽器の演奏、裁縫、体操等
 - 理科の教科書にある「自由研究の手引き」等を参考にし、家庭で取り組める範囲の自由研究
 - 新聞やニュース等を利用し、情報収集する活動や、集めた情報を整理しまとめる活動
 - 発達段階や学習状況に応じて、総合的な学習の時間のテーマに沿った課題について、調べ、まとめる等、探究的な活動
 - オンラインを活用した家庭学習の支援
- (8) 登校日や家庭訪問、電話連絡等を通して、学習に関する指導や支援を行う体制を整える。

5 部活動について

- (1) 部活動は中止とする。

事務担当 義務教育課 電話 024-521-7774
健康教育課 電話 024-521-8409